

教育を起点とした好循環のまちづくり 鹿妻たけひろ通信

2024年 8月発行 No.2



6月に鹿沼市長選挙があり、松井正一市長が誕生しました。
市議会議員としては、どなたが市長であってもやることは変わりません。
引き続き、市民のよりよい生活のため、市民の代表として、市政をチェックし、
市政と市民をつなげることに努めていきます。

3月議会では最後に、佐藤信前市長による、4期16年を振り返ってのあいさつがありました。
その中での、「今私たちは、『あったらいいな』の事業は見直し、『なくては困る』事業を取捨選
択していかざるを得ない時代であることを、市政に携わる者の責務として覚悟していくことが
求められております」という言葉が印象に残りました。

単に、市民からの要望が多いからとか、ほかの自治体でもやっているからといった、浅い考え
による市政にならないように、チェック機関としても、政策の提案をする側としても、この言葉を
肝に銘じなければなりません。



このところ私が注目しているのは、小
中学校の再編計画についてです。
地域によって義務教育の質に差が出
ないように環境を整え、将来社会を支
えることになる子どもに良質な教育を
施すことは、「あったらいいな」の事業
ではなく、まさに「なくては困る」事業
であると考えています。

発行：鹿妻たけひろ後援会 発行責任者：鹿妻たけひろ
〒322-0076 栃木県鹿沼市上日向 307 電話 050-3188-1101

HP：<https://kazumatakehiro.com>

お友達登録
お願いします!



公式 LINE



公式 HP

議会での一般質問の概要

令和6年3月議会

中学生の部活動について

教員の時間外勤務が長時間にわたっており、特に部活動の指導が大きな負担になっていることや、生徒の部活動に対するニーズが多様化していることなどを背景に、部活動の適切な活動量や、学校での活動日数、時間数の決定の仕方などについて質問しました。

鹿沼市のひきこもりの現状について

生産年齢人口の約2%がひきこもりの状態にあると推計されています。鹿沼市では約1000人が該当し、その半数近くは中高年であると推計されます。相談窓口での相談受付状況や、今後の支援等の対応について質問しました。

令和6年7月議会

学校再編について

現在、策定に向けて進められている小中学校再編計画について、特に小規模校の解消を念頭に、学校と地域コミュニティの関係について意見を述べ、各地域での意見交換会において保護者や地域住民から上がった意見や、それを受けた上での今後の再編計画の進め方について質問しました。

ふるさと納税型クラウドファンディングについて

ふるさと納税による寄附金を活用するとはいえ、実質は税金を使用しての事業ということになるため、単に事業が成功するかどうかという見方ではなく、公益性があるかどうかことが重要と考えます。公益性を担保するため、どのように審査や検証を行っていくのか質問しました。



Youtube

鹿沼市議会チャンネル

一般質問等の動画はこちらからご覧ください